

福島県 南相馬市役所
鹿島区 産業建設課 農林水産係
立谷 誠浩さんから届いた福島の現状

昨年も岡山の皆様をはじめ、愛媛、大阪の皆様にもご協力をいただきありがとうございました。

【福島の現状について】

現在、福島では、原発の廃炉作業が遅延しており、メディアの報道においても廃炉作業の進捗に関しては詳しく報道がされていない状況です。中間貯蔵施設の本格工事が始まるまで除染作業にて集めた汚染土等は原発近くの中間貯蔵施設の予定地内の一時保管場へ搬入作業をしています。しかし、搬入された量は全体の一部にすぎません。

福島県全体として風評を払拭していく安心・安全の為のPR活動は、少しずつですが消費者の不安を解消し、風評被害の改善に繋がっていると感じます。

しかし、どんなに安全検査をクリアした農作物であったとしても、まだまだ福島県の農作物全体に懸念抱いている方も多く見られるのも事実です。

福島の風評払拭には時間を要すると考えており、こうしたアムダさんを通じた福島県の農産物購入の取り組みは風評被害払拭の大きな支援と考えております。

【南相馬の農業について】

南相馬は市内全域の農地除染を実施し、昨年度には作業も完了したことから約1,700haに水稲作付を行いました。それに加えて今年度は津波被災地域の復旧も進んだことから約2,200haに作付面積を拡大することができました。

その一方でH28年7月に避難解除になった地域は、未だ避難している人が多いことから、作付が困難といった理由や津波被害の復旧が進んでいない地域なども多くあることから、南相馬市内で作付できない地域がまだまだ多くあります。

本来、震災前には南相馬市の農地は約7,500haあったことを考えると、今年の作付面積は震災前の約30%にも満たない状況です。

安心して食べていただける、おいしいお米を提供できるよう、県内全域で米の全量・全袋検査を行っておりますが、「福島の米」というだけで敬遠される方がいらっしゃるのも事実です。

このような風評被害を一日でも早く払拭すべく農家のみなさんと一緒に頑張っております。

ぜひ皆様の温かいご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

